福あしぽけっと おおかわえいと

題字
三水第二小学校１年

2017
6/30
No.135

HUREAI POKETTO

「牛の乳をしぼったよ！！」

～６月１０日・がぁたく塾『出発式』～

今年の出発式は小県郡（ちいさがたぐん）長和町で、黒曜石（火山の石）を使って矢じりやペンダントを作ました。長和町は、全国有数の良質な黒曜石の産地で、昔は刃物の材料として全国に流通していたそうです。その後、牧場にて牛の乳しぼりを行いました。全員初めてということで、なかなか搾り出せずに苦労しましたが、指導員さんの丁寧な説明と、おとなしく協力してくれたお牛さんのおかげでみんな無事搾乳に成功。貴重な体験をさせていただきました。

●●●主な記事●●●

Ｐ２　ボランティア
　　市民活動コーナー
Ｐ３　自然育児のススメ
　　いいづなの事業所紹介
Ｐ４　まちがいさがしクイズ
　　新　ささらばさら(❹コママンガ)
　　りんごのつぶやき

この広報紙は、地域福祉を推進するために社協の事業内容など飯綱町の地域福祉に関する新鮮な情報を掲載し、共同募金の配分金を財源として発行されています。

ボランティア市民活動コーナー

『わんこ』で特殊詐欺防止活動を行いました！

5月22日～27日までの1週間、デイサービスセンター『さみずの郷』の利用者の皆さんは、「わんこ」作りにチャレンジしました。指導していただいたのは、ボランティアグループ「小物づくりボランティアの会」の皆さん。

材料は比較的シンプル、作り方も簡単そうなのに、いざ作ってみると案外難しい…。でも手先が器用な皆さんは進めるのが早い！飲み込みも早い！30分もかからず全員完成！

出来上がった『わんこ』には、振り込め詐欺などをはじめとした「特殊詐欺に気をつけて！」と書かれたカードを取り付けました。いずれは、特殊詐欺被害を呼びかける活動で、皆さんが作る『わんこ』が町民の皆さんへお配りできるような活動へと発展するといいですね★

6月15日（木）、飯綱町ボランティア連絡会及び、「小物づくりボランティアの会」の皆様が、飯綱病院にて「わんこ」を配りながら、特殊詐欺防止活動を行いました。「わんこ」に取り付けられている『特殊詐欺には気をつけましょう！』と書かれた色紙は、いつでも目に付く場所に置いておけるよう、ボランティア連絡会の皆さんによって工夫されて作られました。この活動を通して、『特殊詐欺ゼロのまち』を目指したいですね。

飯綱病院の玄関ロビー及び待合室にて呼びかけ運動を行いました。飯綱町交番の方々も駆けつけて下さいました★

《自然育児》のススメ～お手伝い②～

「お手伝い」には開始適齢期、或いは上限年齢があるように思います。例えば子供が小さい時に「危ない」と言って台所仕事から遠ざけてしまうと、いざ料理などを「お手伝い」させてみても、イベントやレジャーになってしまうような・・・。

また我が家の失敗例としても、大人都合優先の、例えばこちらが忙しい時の「お手伝い」は、やらされ感や強制力が強くなってしまい、習慣にはなり難かったように思います。

「お手伝い」の習慣化を願うなら、2～3才くらいの「大人の真似をしたがる頃」がおススメの開始時期で、5～9才頃の、周りへの影響力を意識する頃（役立つ喜びに気付く頃？）が、積極的な『お手伝い適齢期』だと思います。

大人と一緒に「（お手伝い）作業」しながら、段取りや手先、身体の使い方を覚えていけたら良いと思います。

by 唯〇母

自然育児のススメでは、現在テーマを募集しています。子育てや子どもの世界で何か不思議に思っていることや、聞きたいことなどがございましたら、まちがいさがしクイズの感想欄または、左記までご連絡ください。よろしくお願いします。

電話：253-8456
FAX：253-2907
Eメール：
iishakyo@ii-shakyo.or.jp

飯綱町の事業所紹介

《社協以外の事業所を紹介します》

SUNのあれこれ

ふれあい広場にお越しいただいた皆様、参加された皆様、お疲れ様でした。

SUNは、今年もかき氷とカフェのコーナーに大勢で参加をいたしました。

たくさんのお客様に来ていただいたので、氷を削る職員は汗だく！あまりにも必死にやっているので周りの状況を察知することを忘れてしまいがちですが、そこをカバーしてくれるのが利用者さん達です。並んで待っているお客様とお話しをしたり「お待たせしました～」と笑顔でかき氷を渡したりして周囲を和やかにしてくれました。

利用者と職員の力を合わせて出店をしたお店はいかがでしたでしょうか？また、来年もお越しくださいね！

NPO法人　SUN
☎253-0133

第133回　まちがいさがしクイズ解答

答え

①右のおばさん　腰の手の組み方

②真ん中のおじさん　首のタオル

③左のおじさん　左手のタバコ

高橋　陽子　様 / 渡辺　絢　様 / 飯田　ゆかり　様

飯田　伸江　様 / 服田　ふさ江　様

上記の皆様が当選されました。おめでとうございます。

当選された方の景品につきましては、飯綱カード協同組合からのご協力をいただいております。

Q まちがいさがしクイズ♪

―第１３４回―　今月も「まちがいさがしクイズ」に挑戦

正解者の中から５名様に素敵なお楽しみプレゼント！

※第１３３回まちがいさがしクイズの答えと当選者の発表は前ページに掲載してあります。

ハガキ表

52

389-1201

飯綱町芋川181

飯綱町社会福祉協議会

「まちがいさがし」

ハガキ裏

- 答え
- 住所
- 名前
- 電話番号
- 今月号の感想、自然育児のススメでとりあげてほしいテーマなどについて

左右の絵を見比べて３つの間違いの答えがわかった方は、左記の要領で記入の上、ご応募ください。社協ホームページクイズ応募フォーム又は社協来所による応募も受け付けております。（町内在住の方に限ります）締切りは、７月１４日(金)です。【消印有効】多くの皆様のご応募お待ちしております。

寄付

つるや商店
粟野原　雅幸　様
お花多数

地域福祉の推進に活用させていただきます。ありがとうございました。

新 さとらぼとら 87

こばやしひろみち

りんごのつぶやき

かつて交通戦争と言われた時代、都会では「遊戯道路」という仕組みが生まれた。これは子供が道路で安心して遊べるように、一定の曜日・時間を決めて車両通行を規制した道路のこと。住民要望に基づき警察が指定する。昭和44年に初めて登場したが、その後公園整備が進んだこともあり、今では遊戯道路が消えた地域もあるという。この遊戯道路では沿道住民が競って餅つきを開催するなど、子どもの安全だけでなく地域のコミュニケーションにも役立っていた、と出張先で読んだ東京新聞に書いてあった。

記事を読んでいたら、自分も小学生の頃、公会堂前の道路が近所の子供の格好のゴムボール野球場所だったことを思い出した。自分は球技が苦手でチームの足を引っ張るから野球は遠慮していたが、そんな自分でもかくれんぼや「だるまさんが転んだ」の時は誘われて一緒に遊んだ記憶が懐かしい。道路といってもたまに近所の軽トラや耕耘機が通る程度で、事故の心配などまず無かった。近所の大人に小世話を焼かれたりお菓子を貰ったこともあったっけ。

お金もかかり地域力も弱まるだろうが公園を整備すれば交通事故の心配は消える。一方で事故ゼロは無理だろうが遊戯道路のような仕組みは地域のコミュニケーションにも役立つ。一長一短あるところだ。しかし、かつて遊戯道路という、子供が安全に遊べる場づくりに地域みんなで向き合った時代があったことは忘れないようにしたい。

≪発行≫ふれあいぽけっと編集委員会（事務局：飯綱町社会福祉協議会）　〒389-1201 長野県上水内郡飯綱町大字芋川 181
電話：026-253-8456　FAX：026-253-2907　E メール iishakyo@ii-shakyo.or.jp　HP http://ii-shakyo.or.jp